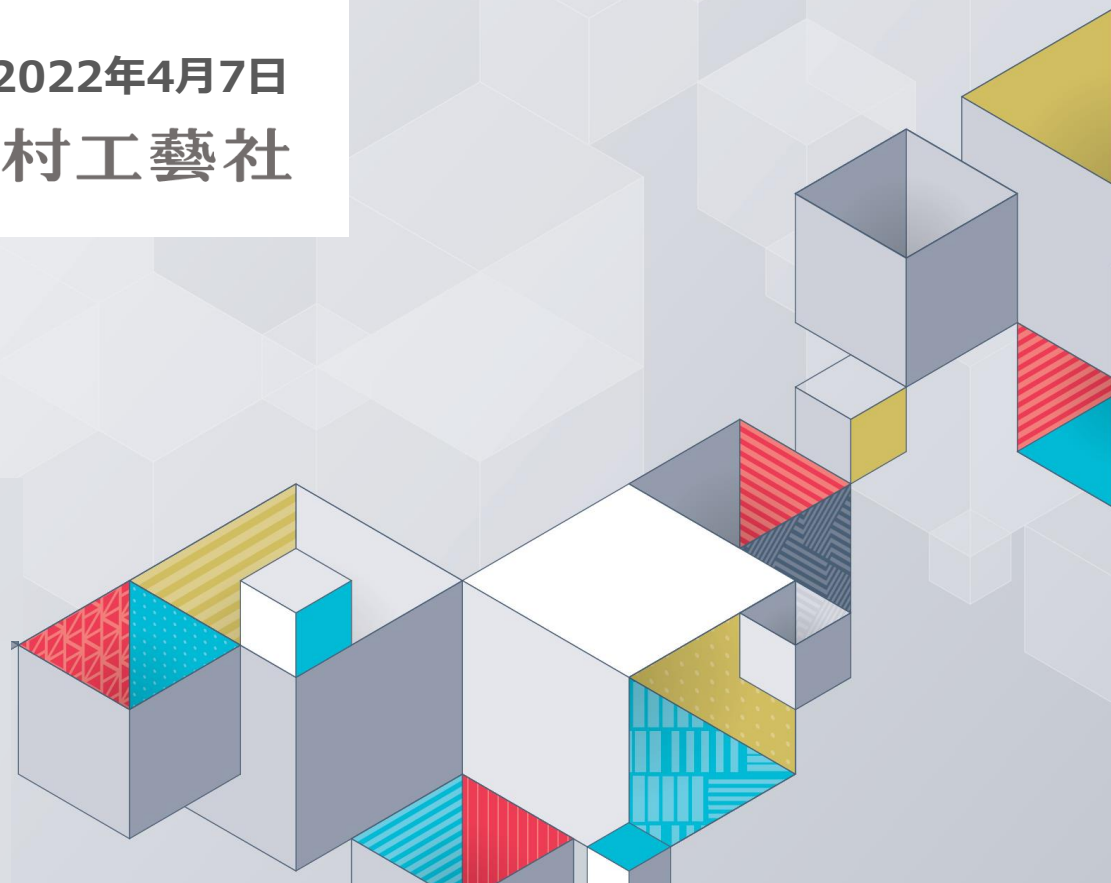


2021年度 決算説明資料

2022年4月7日

株式会社 **乃村工藝社**



1. 2021年度 決算概要
2. 今後の展開について
3. 2021年度 決算補足資料
4. 当社グループの概要

将来の見通しに関する注意事項

記載されている業績予想などの将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報にもとづき、当社が合理的と判断したものです。潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 2021年度 決算概要

2021年度 連結業績ハイライト

- 売上高は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」関連案件の計上およびグループ会社事業の回復により増収となった。
- 営業利益は、総利益率低下により総利益が減少したものの、販売管理費の削減により増益となった。

(百万円)	2020年度		2021年度		
	通期	対売上高 構成比	通期	対売上高 構成比	前期比
売上高	107,736	100.0%	111,081	100.0%	+3,344 (+3.1%)
売上総利益	21,072	19.6%	20,695	18.6%	△377 (△1.8%)
営業利益	4,882	4.5%	5,431	4.9%	+549 (+11.2%)
経常利益	5,010	4.7%	5,594	5.0%	+583 (+11.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,071	2.9%	3,984	3.6%	+912 (+29.7%)

売上高・売上総利益

①売上高

	2020年度	2021年度	前期比
売上高	107,736百万円	111,081百万円	+3,344百万円 (+3.1%)

- 大型案件が完工した、百貨店・量販店市場、博物館・美術館市場、博覧会・イベント市場などの売上高が増加したことにより、前期に比べ3.1%の増収となった。

②売上総利益

	2020年度	2021年度	前期比
売上総利益	21,072百万円	20,695百万円	△377百万円 (△1.8%)
<売上総利益率>	19.6%	18.6%	△1.0ポイント

- 売上総利益率は、売上高が増加したものの、採算性が高い大型案件の減少にともない、前期に比べ1.0ポイント低下し18.6%となった。

営業利益

① 販売管理費

	2020年度	2021年度	前期比
人件費	10,084百万円	9,911百万円	△172百万円 (△1.7%)
経費	6,106百万円	5,352百万円	△753百万円 (△12.3%)
販売管理費	16,190百万円	15,263百万円	△926百万円 (△5.7%)
<販売管理費比率>	15.1%	13.7%	△1.4ポイント

- 人件費は、賞与等の減少により1.7%減少、経費は、宣伝広告費および家賃等の抑制により12.3%の減少となった。
- 販売管理費は、人件費・経費の削減効果により前期に比べ5.7%減少、販売管理費比率は、売上高の増加により1.4ポイント低下し、13.7%となった。

② 営業利益

	2020年度	2021年度	前期比
営業利益	4,882百万円	5,431百万円	+549百万円 (+11.2%)

- 営業利益は、採算性の高い大型案件の減少により総利益が減少したものの、販売管理費の削減策を徹底したことから前期に比べ11.2%の増益となった。

経常利益

① 営業外損益

	2020年度	2021年度	前期比
営業外収益	144百万円	162百万円	+ 18百万円
営業外費用	16百万円	0百万円	△16百万円

- 営業外収益は、受取配当金等により増加、営業外費用は、為替差損等が減少したことにより前期に比べ減少した。

② 経常利益

	2020年度	2021年度	前期比
経常利益	5,010百万円	5,594百万円	+ 583百万円 (+ 11.6%)

- 経常利益は、営業利益の増加にともない前期に比べ11.6%の増益となった。

当期純利益

① 特別損益

	2020年度	2021年度	前期比
特別利益	17百万円	453百万円	+435百万円
特別損失	340百万円	84百万円	△255百万円

- 特別利益は、投資有価証券の売却益により増加した。
- 特別損失は、固定資産除却損、投資有価証券評価損等が生じたものの、前期のコロナウイルス感染症の影響による飲食・物販事業の臨時休業による損失等が減少したことにより減少した。

② 法人税等・当期純利益

	2020年度	2021年度	前期比
法人税等	1,606百万円	1,983百万円	+377百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,071百万円	3,984百万円	+912百万円 (+29.7%)

- 法人税等は、利益の増加にともない増加した。
- 当期純利益は、経常利益の増加、特別利益の計上にともない前期に比べ29.7%の増益となった。

市場分野別の売上高

- 海外ブランド等の改装需要のあった「専門店市場」、前期に比べ店舗改装や装飾業務の需要回復がみられた「百貨店・量販店市場」、歴史博物館、科学博物館等の大型案件が完工した「博物館・美術館市場」、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」関連の大型案件があった「博覧会・イベント市場」が増収となった。
- 大型商業施設の改装需要が減少した「複合商業施設市場」、リアル空間における展示会や販促イベントの延期・中止があった「広報・販売促進市場」、ホテル、オフィス等の新装・改装の大型案件が減少した「余暇施設市場」、「その他市場」が減収となった。

	2020年度 売上高		売上 総利益率	2021年度 売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前期比		金額(百万円)	前期比	
専門店市場	25,491	△32.5%	↓17.8%	27,149	+6.5%	↓15.4%
百貨店・量販店市場	3,521	△44.4%	↓21.1%	6,425	+82.5%	↑24.7%
複合商業施設市場	12,036	△29.5%	↑19.7%	7,936	△34.1%	↓16.2%
広報・販売促進市場	15,037	△17.7%	↓19.9%	7,984	△46.9%	↑21.0%
博物館・美術館市場	8,284	△16.5%	↑19.3%	10,765	+29.9%	↑21.6%
余暇施設市場	11,662	△21.8%	↓14.5%	8,129	△30.3%	↑15.0%
博覧会・イベント市場	2,455	△11.2%	↓20.3%	16,433	+569.3%	↓18.7%
その他市場	28,499	△16.4%	↑23.2%	25,470	△10.6%	↓20.4%
ディスプレイ事業 小計	106,988	△24.2%	↓19.7%	110,293	+3.1%	↓18.6%
飲食・物販事業	748	△70.5%	↓5.9%	787	+5.3%	↑16.8%
合計	107,736	△25.0%	↓19.6%	111,081	+3.1%	↓18.6%

市場分野別の受注高・受注残高

- 受注高は、海外ブランド、スポーツ用品店舗などの需要が増加した「専門店市場」、中部・関西圏の改装案件を受注した「百貨店・量販店市場」、ホテル、テーマパークの大型受注があった「余暇施設市場」、オフィス環境整備等の需要が増加した「その他市場」が増加し、前期に比べ20.4%の増加となった。
- 受注残高は、「複合商業施設市場」、「余暇施設市場」、「その他市場」において新装・改装案件の受注が増加したものの、「博物館・美術館市場」、「博覧会・イベント市場」において大型案件の売上計上があったため前期に比べ15.4%の減少となった。

	2020年度		2021年度		受注高 前期比	受注残高 前期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	22,426	7,245	26,701	6,797	+19.1%	△6.2%
百貨店・量販店市場	3,065	1,091	6,269	935	+104.5%	△14.3%
複合商業施設市場	8,374	3,223	8,419	3,706	+0.5%	+15.0%
広報・販売促進市場	7,149	2,922	6,958	1,897	△2.7%	△35.1%
博物館・美術館市場	9,129	8,905	8,110	6,251	△11.2%	△29.8%
余暇施設市場	6,611	5,575	15,422	12,868	+133.3%	+130.8%
博覧会・イベント市場	5,507	12,190	4,624	381	△16.0%	△96.9%
その他市場	23,049	8,128	26,186	8,844	+13.6%	+8.8%
合 計	85,314	49,283	102,693	41,683	+20.4%	△15.4%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

2022年度 連結業績予想

- 2022年度業績予想については、ウクライナ情勢がもたらす経済・物価への影響により、受注競争の激化および資材価格の上昇にともなうコスト増加等による利益率の低下を想定している。

(百万円)	2021年度			2022年度(予想)		
	通期	対売上高 構成比	前期比	通期	対売上高 構成比	前期比
売上高	111,081	100.0%	+3.1%	110,000	100.0%	△1.0%
営業利益	5,431	4.9%	+11.2%	4,500	4.1%	△17.2%
経常利益	5,594	5.0%	+11.6%	4,550	4.1%	△18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,984	3.6%	+29.7%	2,950	2.7%	△26.0%
1株当たり配当金	28.00円	—	+3.00円	25.00円	—	—

※普通配当25円、記念配当3円

2. 今後の展開について

市場環境

- 不透明な市場環境が継続するが、ウィズ／アフターコロナを見据えた個人消費、企業設備投資の緩やかな回復に期待
- ニューノーマルに対応した空間創り、提案活動が重要

コロナ感染症収束後に想定される市場環境

商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・リアル空間とオンライン空間を融合した店舗づくり ・商業に加え、公共、医療、教育、エンタメなどを備えた複合施設化 ・都市再開発による需要の回復
企業PR施設、展示会	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルとオンラインの棲み分け、また融合されたイベントの開催 ・デジタル技術を活用した展示空間 ・企業の業績改善にともない販促投資が回復
博物館、公共イベント ホテル、テーマパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド需要の回復には時間を要するが、ホテル、エンタメ施設の需要拡大への期待および地方創生・活性化のニーズが高まる ・IR構想および大阪・関西万博を見据えた投資による需要拡大
オフィス施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルに応じた多様なワークプレイス ・都市から郊外へのシフト、ワーケーション施設の需要増加

2020 – 2022 中期経営計画

2020 – 2022 中期経営計画テーマ

「社会から選ばれるノムラへ」

人財・企業文化の戦略

制度・仕組みの戦略

事業の戦略

2020 – 2022 中期経営計画

人財・企業文化の戦略

➤ 健康経営の実現、事業の効率性・生産性向上への取り組みを推進

■ 働きやすさの改善・働きがいの向上

- ・「働き方改革総合計画」を策定、運用実施
- ・従業員意識調査における改善、意識向上

■ ノムラDNA継承のための人財確保・育成

- ・長期的な人財確保、育成計画の策定、運用実施



「えるぼし認定(三つ星)」



制度・仕組みの戦略

➤ 持続的成長と企業価値向上を支える経営基盤を構築

■ グループ経営管理体制の確立

- ・内部統制、コンプライアンスの強化
- ・コーポレートガバナンス体制の強化

2020-2022 中期経営計画

事業の戦略

➤ ノムラにしかできない新たな価値提供への挑戦

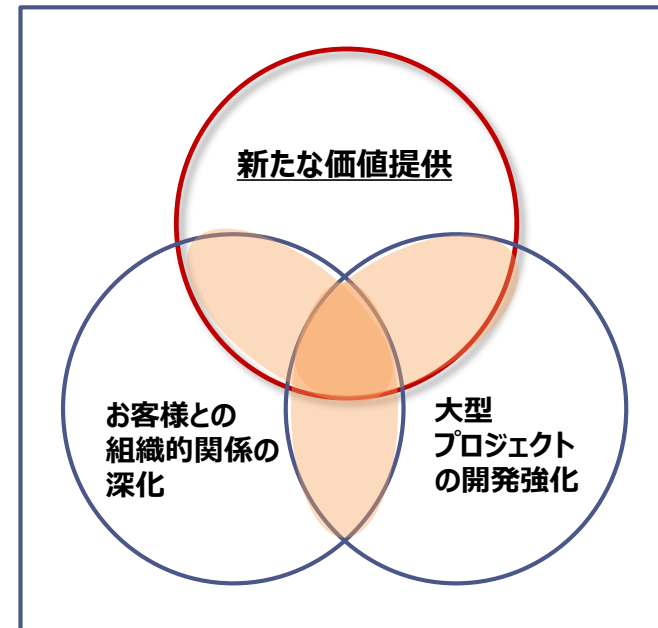
- ・事業参画などお客様との共創・協業の推進
- ・SDGsや地方創生の動きに対し、空間を切り口としたソリューションの提供、事業創造への取り組み、【ソーシャルグッド】活動を展開
- ・ソフト・コンテンツビジネスの強化、デジタル領域の強化の取り組み
- ・BIMの活用、「空間の科学的な検証」の取り組み（未来創造研究所設立）

➤ お客様との組織的関係の深化

- ・空間づくりを通じた、お客様の経営課題解決への貢献
- ・国内外におけるグローバル企業の深耕・新規顧客獲得
- ・東京2020大会で培った関係強化
- ・グループ事業再編、営業・プロダクト組織の一体化

➤ 大型プロジェクトの開発強化

- ・積極的な先行投資による、さらなる競争優位性の獲得
- ・全国支店、グループ会社との連携のさらなる強化
- ・都市再開発事業やインバウンドの回復による投資などの大型案件への取り組み



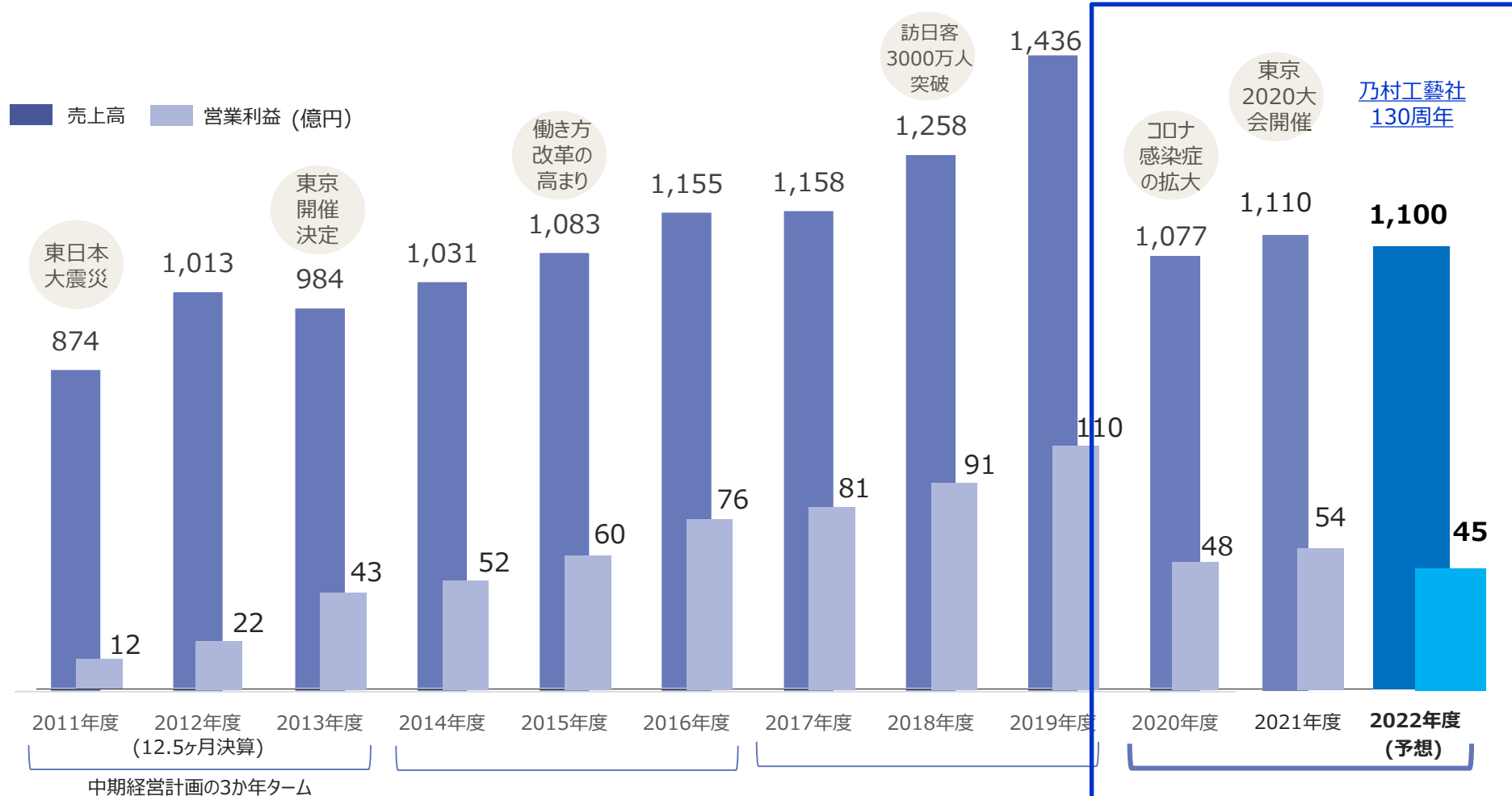
ソーシャルグッドウィーク開催 ※1

(※1) ソーシャルグッドウィーク:「ソーシャルグッド」をテーマに社員およびお客様の情報交流、関係深耕 のために開催したイベント

2020-2022 中期経営計画

- 今期は、「2020-2022中期経営計画」、「ノムラ長期ビジョンN22」の最終年度
- 次のステージへの進化を目指し、新たな中期経営計画を検討中

2020-2022中期経営計画



3. 2021年度 決算補足資料

【前期末比較】連結貸借対照表

		2020年度末		2021年度末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	66,397	81.0%	64,913	82.2%	△1,484	△2.2%	売掛金およびたな卸資産の減少などにより前期に比べ14億84百万円減少。
	固定資産	15,611	19.0%	14,053	17.8%	△1,558	△10.0%	投資有価証券の売却などにより15億58百万円減少。
	資産合計	82,009	100.0%	78,967	100.0%	△3,042	△3.7%	
負 債 純 資 産	流動負債	29,207	35.6%	25,117	31.8%	△4,090	△14.0%	工事完成による前受金の減少により40億9千万円減少。
	固定負債	5,272	6.4%	5,173	6.6%	△99	△1.9%	退職給付に係る負債の減少などにより99百万円減少。
	負債合計	34,480	42.0%	30,290	38.4%	△4,190	△12.2%	
	純資産	47,529	58.0%	48,677	61.6%	+1,147	+2.4%	利益増加により11億47百万円増加。
	負債純資産合計	82,009	100.0%	78,967	100.0%	△3,042	△3.7%	

【前期比較】連結損益計算書

通期	2020年度		2021年度				ポイント
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前期比		
売上高	107,736	100.0%	111,081	100.0%	+3,344	+3.1%	東京2020大会の開催およびグループ 会社事業の回復により前期に比べ 33億44百万円の増収。
売上総利益	21,072	19.6%	20,695	18.6%	△377	△1.8%	採算性の高い大型案件の減少により 売上総利益率が1.0ポイント低下し、 3億77百万円減少。
販売管理費	16,190	15.1%	15,263	13.7%	△926	△5.7%	賞与減少などによる人件費減、広告宣 伝費、家賃等の減少などによる経費減 により9億26百万円減少。
営業利益	4,882	4.5%	5,431	4.9%	+549	+11.2%	売上総利益率が低下したものの、販売 管理費の削減により5億49百万円の 増益。
経常利益	5,010	4.7%	5,594	5.0%	+583	+11.6%	営業利益の増加により増益。
特別利益	17	0.0%	453	0.4%	+435	+2,421.3%	投資有価証券の売却益などにより4億 35百万円の増加。
特別損失	340	0.3%	84	0.1%	△255	△75.1%	コロナウイルス影響による飲食・物販事 業の臨時休業にともなう損失および事 業構造改善費用を計上。
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,071	2.9%	3,984	3.6%	+912	+29.7%	経常利益、特別利益の増加により増 益。

【前期比較】連結キャッシュ・フロー計算書

通期	2020年度 (百万円)	2021年度 (百万円)	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,671	5,286	税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の回収などにより52億86百万円の収入。
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,531	648	有形・無形固定資産の取得があったが、投資有価証券の売却により6億48百万円の収入。
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,602	△ 2,851	配当金の支払いなどにより28億51百万円の支出。
現金及び現金同等物の増減額	559	3,230	
現金及び現金同等物の期末残高	33,847	37,077	前期末に比べ32億30百万円の増加。

【前期比較】市場分野別 売上高・売上総利益率

通期	2020年度			2021年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前期比		金額 (百万円)	前期比		
専門店市場	25,491	△32.5%	↓17.8%	27,149	+6.5%	↓15.4%	海外ブランド、スポーツブランド店舗等を手掛け増収。
百貨店・量販店市場	3,521	△44.4%	↓21.1%	6,425	+82.5%	↑24.7%	百貨店のフロア改装、各種催事案件を手掛け増収。
複合商業施設市場	12,036	△29.5%	↑19.7%	7,936	△34.1%	↓16.2%	大型施設の改装案件の減少により減収。
広報・販売促進市場	15,037	△17.7%	↓19.9%	7,984	△46.9%	↑21.0%	販売促進活動の抑制および展示会、イベント等の延期・中止の影響により減収。
博物館・美術館市場	8,284	△16.5%	↑19.3%	10,765	+29.9%	↑21.6%	歴史・科学博物館など大型案件の完工により増収。
余暇施設市場	11,662	△21.8%	↓14.5%	8,129	△30.3%	↑15.0%	ホテル、テーマパークの大型案件が減少し減収。
博覧会・イベント市場	2,455	△11.2%	↓20.3%	16,433	+569.3%	↓18.7%	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催にともなう各種周辺案件の完工により増収。
その他市場	28,499	△16.4%	↑23.2%	25,470	△10.6%	↓20.4%	オフィス環境整備を多数手掛けたが、大型案件の減少により減収。
ディスプレイ事業 小計	106,988	△24.2%	↓19.7%	110,293	+3.1%	↓18.6%	
飲食・物販事業	748	△70.5%	↓5.9%	787	+5.3%	↑16.8%	新型コロナウイルス感染症にともなう運営店舗の臨時休業の影響が薄れ増収。
合計	107,736	△25.0%	↓19.6%	111,081	+3.1%	↓18.6%	

【前期比較】市場分野別 売上高・受注高・受注残高

■ 合計

(百万円)

通期	2020年度	2021年度	前期比	
売上高	107,736	111,081	+3,344	+3.1%
受注高	85,314	102,693	+17,379	+20.4%
受注残高	49,283	41,683	△7,600	△15.4%

通期	2020年度	2021年度	前期比	
■ 専門店市場				
売上高	25,491	27,149	+1,657	+6.5%
受注高	22,426	26,701	+4,274	+19.1%
受注残高	7,245	6,797	△447	△6.2%
■ 百貨店・量販店市場				
売上高	3,521	6,425	+2,903	+82.5%
受注高	3,065	6,269	+3,203	+104.5%
受注残高	1,091	935	△156	△14.3%
■ 複合商業施設市場				
売上高	12,036	7,936	△4,100	△34.1%
受注高	8,374	8,419	+44	+0.5%
受注残高	3,223	3,706	+483	+15.0%
■ 広報・販売促進市場				
売上高	15,037	7,984	△7,053	△46.9%
受注高	7,149	6,958	△190	△2.7%
受注残高	2,922	1,897	△1,025	△35.1%

通期	2020年度	2021年度	前期比	
■ 博物館・美術館市場				
売上高	8,284	10,765	+2,480	+29.9%
受注高	9,129	8,110	△1,019	△11.2%
受注残高	8,905	6,251	△2,654	△29.8%
■ 余暇施設市場				
売上高	11,662	8,129	△3,532	△30.3%
受注高	6,611	15,422	+8,811	+133.3%
受注残高	5,575	12,868	+7,293	+130.8%
■ 博覧会・イベント市場				
売上高	2,455	16,433	+13,978	+569.3%
受注高	5,507	4,624	△882	△16.0%
受注残高	12,190	381	△11,808	△96.9%
■ その他市場				
売上高	28,499	25,470	△3,028	△10.6%
受注高	23,049	26,186	+3,137	+13.6%
受注残高	8,128	8,844	+716	+8.8%

【四半期推移】 業績サマリー

(百万円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	25,997	27,722	18,442	35,573	20,785	22,943	31,040	36,311
売上総利益	5,442	4,917	3,195	7,518	3,861	4,418	5,879	6,536
売上総利益率	20.9%	17.7%	17.3%	21.1%	18.6%	19.3%	18.9%	18.0%
販売管理費	4,049	3,895	4,081	4,164	3,767	3,591	3,652	4,252
販売管理費比率	15.5%	14.1%	22.1%	11.7%	18.2%	15.7%	11.8%	11.7%
営業利益（損失）	1,392	1,021	△885	3,353	93	827	2,227	2,283
営業利益率	5.4%	3.7%	－	9.4%	0.4%	3.6%	7.2%	6.3%
経常利益（損失）	1,439	1,047	△848	3,372	165	864	2,258	2,305
経常利益率	5.5%	3.8%	－	9.5%	0.8%	3.8%	7.3%	6.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益（損失）	766	640	△668	2,332	14	708	1,680	1,581
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	3.0%	2.3%	－	6.6%	0.1%	3.1%	5.4%	4.4%
受注高	21,887	21,541	23,207	18,677	28,936	28,088	23,807	21,861
受注残高	66,947	60,961	65,986	49,283	57,607	62,943	55,916	41,683

【四半期推移】 市場分野別 売上高

(百万円)

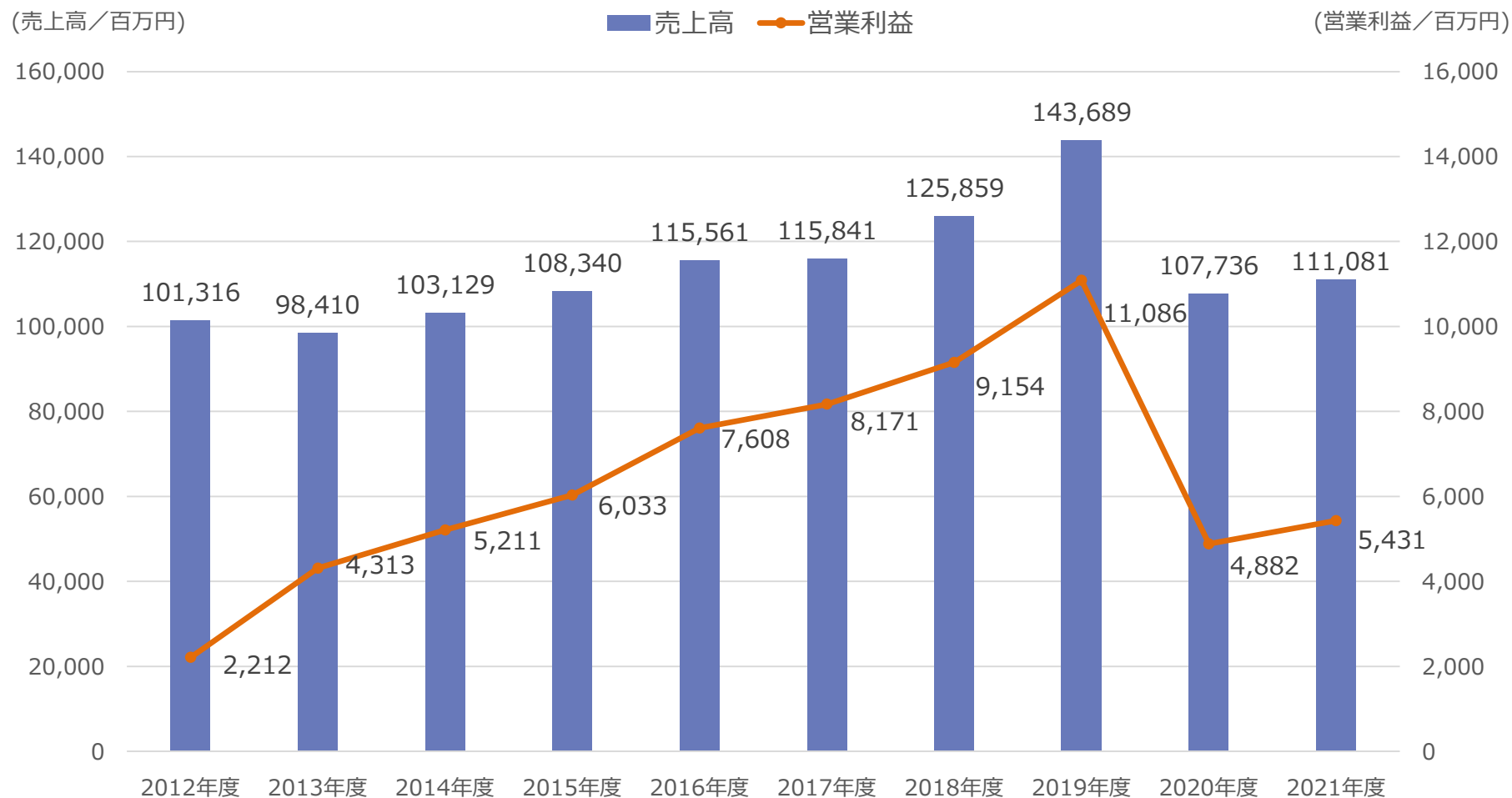
	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
専門店市場	7,676	7,107	4,909	5,798	6,199	4,926	7,634	8,388
百貨店・量販店市場	911	687	905	1,017	758	997	1,690	2,978
複合商業施設市場	3,263	3,409	2,082	3,281	1,837	1,035	1,522	3,541
広報・販売促進市場	2,671	6,303	1,746	4,315	1,742	1,734	1,983	2,524
博物館・美術館市場	3,322	1,396	906	2,659	4,050	2,684	1,439	2,590
余暇施設市場	4,234	2,257	2,273	2,895	1,993	1,240	2,206	2,689
博覧会・イベント市場	147	770	379	1,157	297	2,217	9,160	4,758
その他市場	3,673	5,594	4,975	14,255	3,733	7,916	5,197	8,622
ディスプレイ事業 小計	25,900	27,527	18,179	35,380	20,611	22,752	30,834	36,094
飲食・物販事業	96	195	262	192	173	190	206	216
合 計	25,997	27,722	18,442	35,573	20,785	22,943	31,040	36,311

【四半期推移】 市場分野別 受注高・受注残高

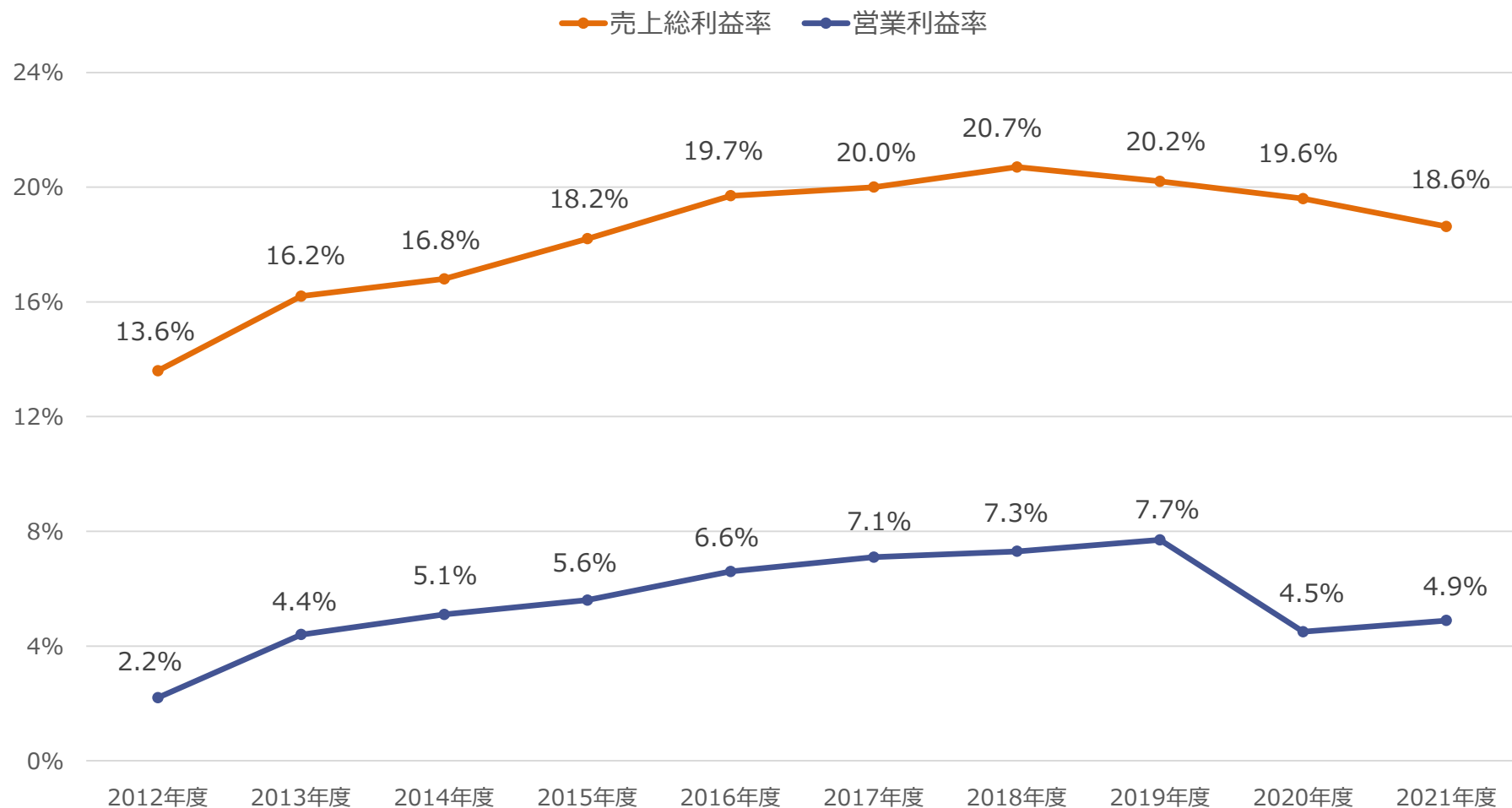
(百万円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
■受注高								
専門店市場	4,401	4,757	6,359	6,908	5,560	6,025	8,136	6,979
百貨店・量販店市場	324	563	737	1,441	1,213	2,730	1,032	1,292
複合商業施設市場	2,347	1,719	2,650	1,656	876	2,340	2,819	2,382
広報・販売促進市場	1,845	2,325	1,921	1,057	743	2,404	1,762	2,047
博物館・美術館市場	3,629	2,230	1,411	1,857	4,374	2,141	1,059	535
余暇施設市場	1,013	2,371	2,503	722	5,649	4,445	2,231	3,095
博覧会・イベント市場	1,750	983	2,122	651	2,969	432	398	824
その他市場	6,574	6,589	5,502	4,381	7,547	7,567	6,366	4,704
合計	21,887	21,541	23,207	18,677	28,936	28,088	23,807	21,861
■受注残高								
専門店市場	7,035	4,684	6,134	7,245	6,606	7,705	8,207	6,797
百貨店・量販店市場	960	836	668	1,091	1,547	3,279	2,621	935
複合商業施設市場	5,969	4,280	4,848	3,223	2,262	3,568	4,865	3,706
広報・販売促進市場	9,984	6,006	6,180	2,922	1,924	2,594	2,373	1,897
博物館・美術館市場	8,368	9,202	9,707	8,905	9,229	8,686	8,306	6,251
余暇施設市場	7,405	7,519	7,749	5,575	9,232	12,437	12,462	12,868
博覧会・イベント市場	10,741	10,953	12,696	12,190	14,862	13,077	4,315	381
その他市場	16,482	17,477	18,002	8,128	11,943	11,594	12,763	8,844
合計	66,947	60,961	65,986	49,283	57,607	62,943	55,916	41,683

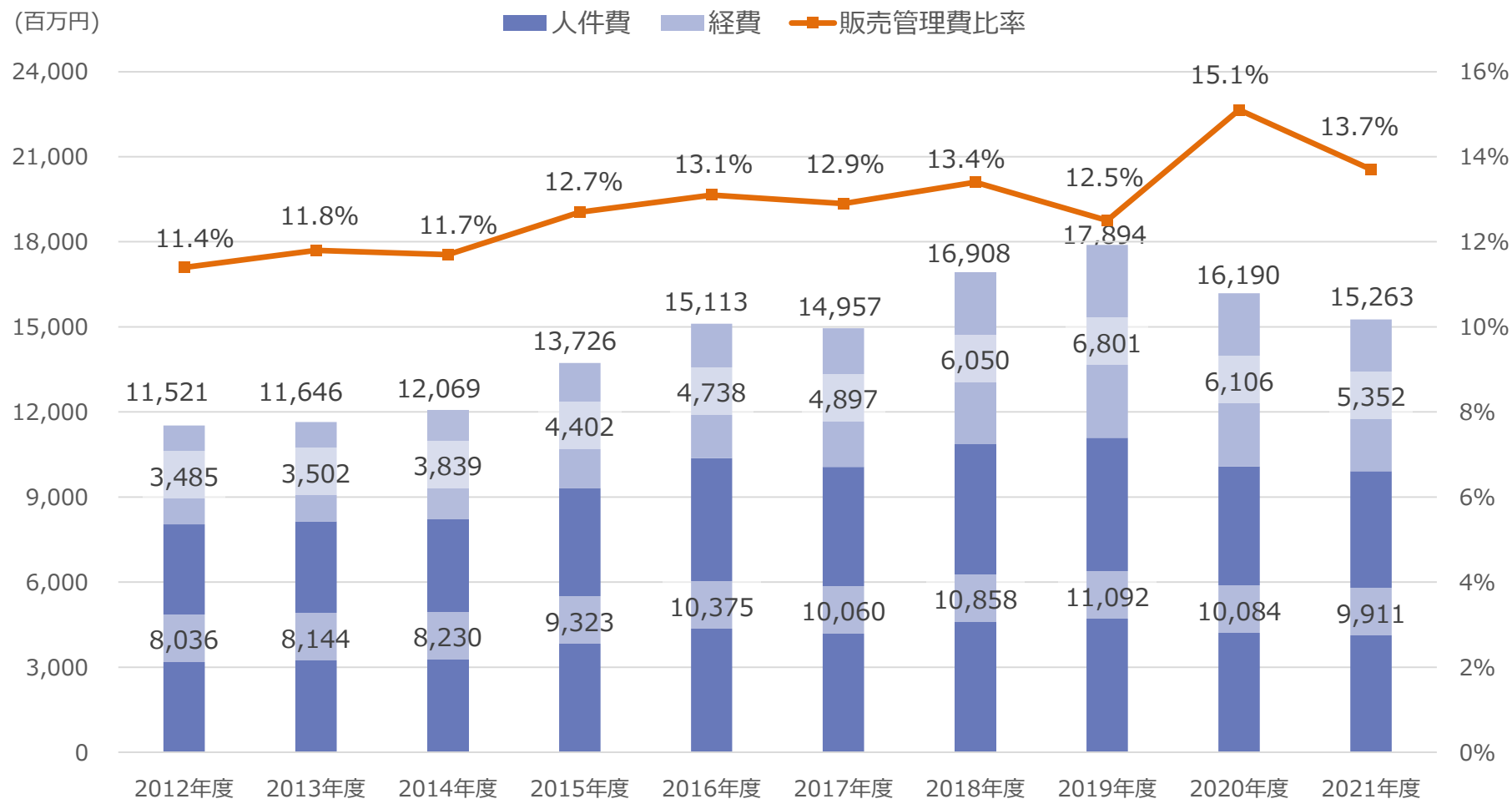
【通期推移】 売上高・営業利益



【通期推移】 売上総利益率・営業利益率



【通期推移】 販売管理費・販売管理費比率

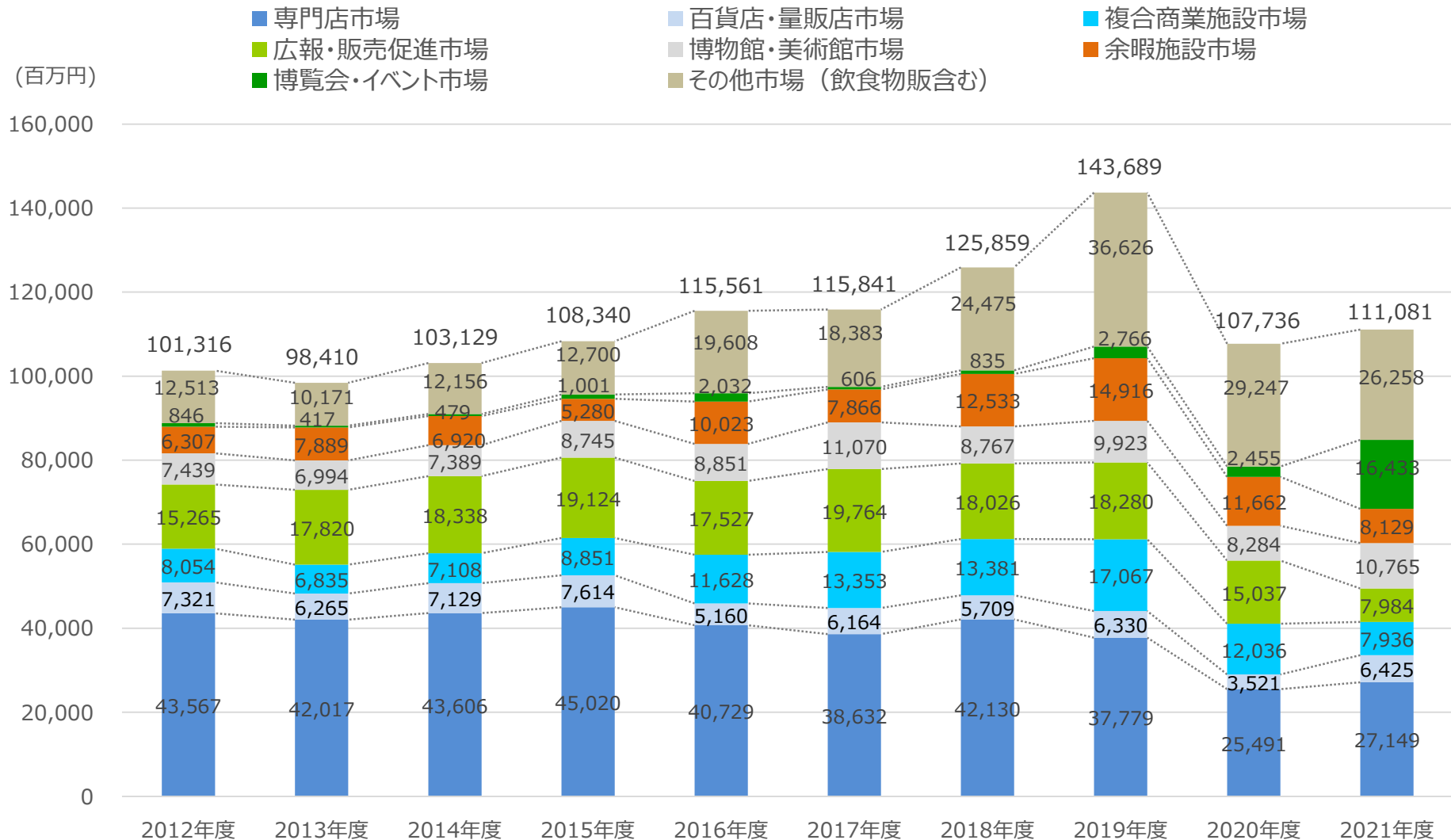


【通期推移】 受注高・受注残高



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

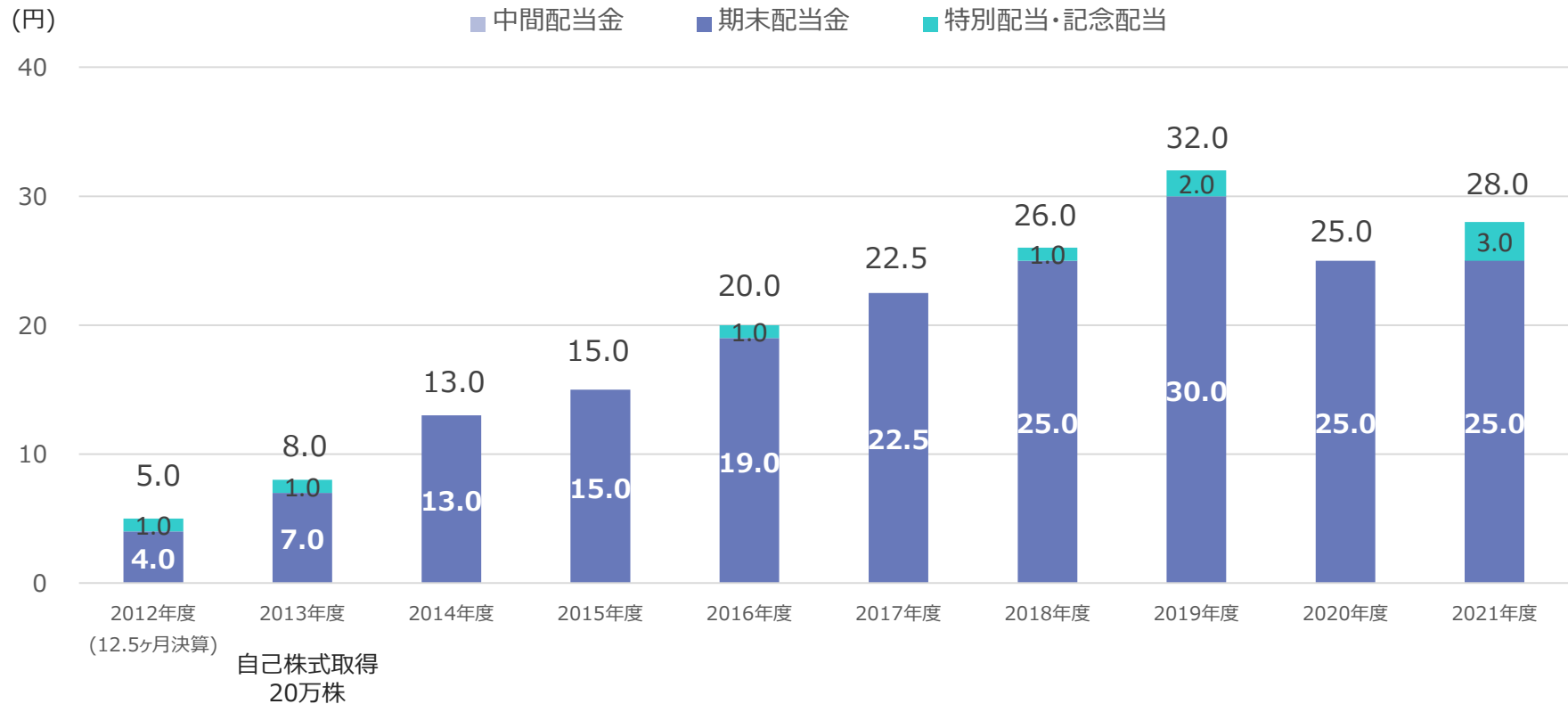
【通期推移】 市場分野別 売上高



(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

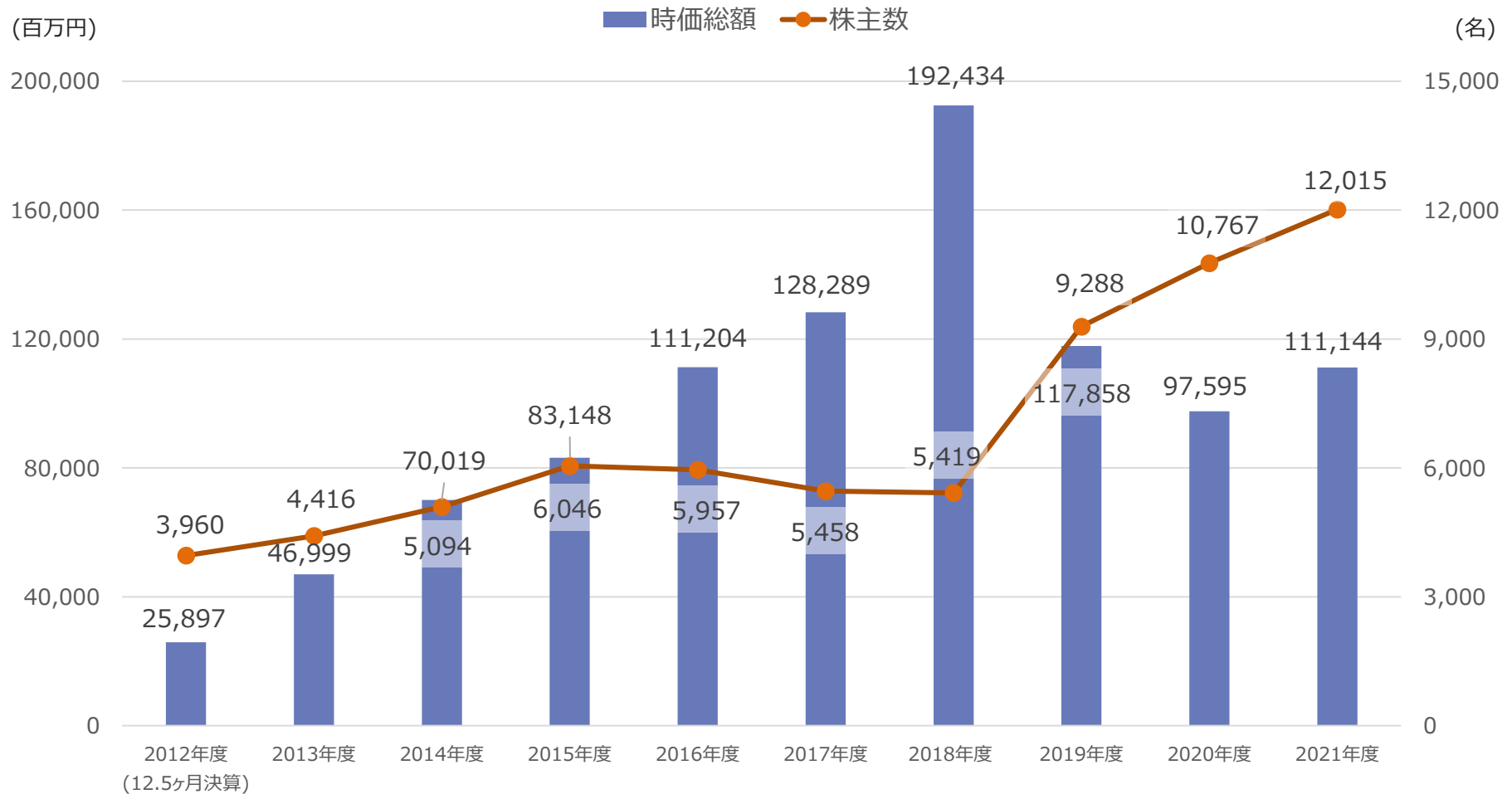
【株式情報】株主還元策と配当金の推移

※2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。下記は2012年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金、株価を算定。



配当性向	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	42.9%	45.7%	90.6%	78.2%
株価最高値	221.0円	526.0円	608.0円	966.0円	995.0円	1,324.0円	1,667.5円	1,670.0円	1,031.0円	1,148.0円
株価最安値	114.0円	213.0円	332.5円	551.0円	663.5円	901.5円	1,017.5円	961.0円	642.0円	787.0円

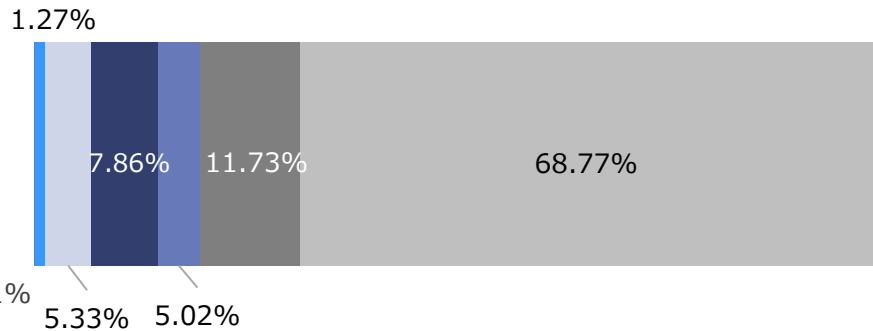
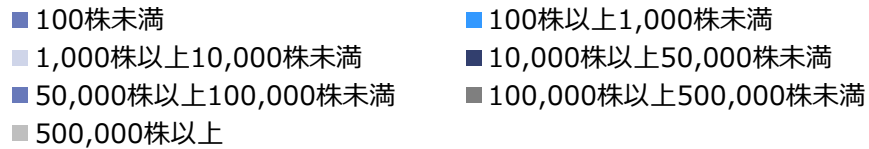
【株式情報】 時価総額と株主数の推移



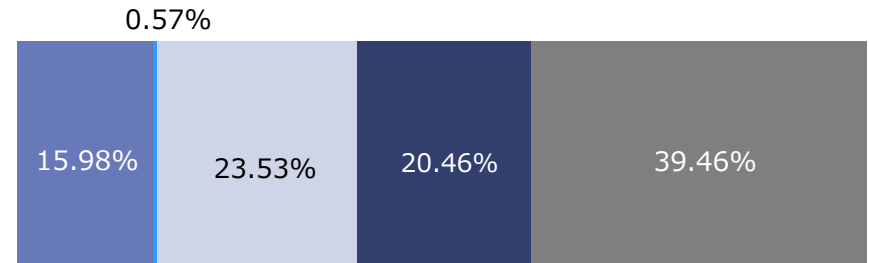
※各年度末における時価総額、株主数

【株式情報】株主構成 (2022年2月28日現在)

■ 所有株数別株式の分布状況



■ 所有者別株式の分布状況



100株未満	3,398名	16,291株
100株以上1,000株未満	5,754名	1,521,705株
1,000株以上10,000株未満	2,230名	6,394,197株
10,000株以上50,000株未満	447名	9,424,665株
50,000株以上100,000株未満	88名	6,020,566株
100,000株以上500,000株未満	68名	14,066,319株
500,000株以上	30名	82,452,845株
	12,015名	119,896,588株

外国人	213名	19,155,150株
証券会社	30名	681,674株
金融機関	27名	28,208,380株
その他法人	159名	24,533,304株
個人・その他	11,586名	47,318,080株
	12,015名	119,896,588株

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

4. 当社グループの概要

われわれは、人間尊重に立脚し
新しい価値の創造によって
豊かな人間環境づくりに貢献する

ノムラのいう人間尊重とは

ノムラは、生活者である人間の多様な価値観に対応し、快い生活環境を創造する。
また、ノムラは社員の人間性を基盤にして、働きがいのある自己実現の場をつくりあげる。

ノムラのいう新しい価値の創造とは

ノムラは、人と人、人との、人と情報が交流する新たな機能と可能性を追求し、最適な
集客貢献と空間創造を実現する。

ノムラが目指す企業像とは

ノムラのおくりだすものは、人間環境の質的向上をはかる生活文化そのものである。
ノムラはこの仕事を通じて、環境創造産業のリーダーとなる。

会社概要

創設 1892年(明治25年) 3月
業立 1942年(昭和17年) 12月
上場市場 プライム市場(9716)
資本金 64億97百万円
売上高 1,110億81百万円(2021年度)
従業員数 (2022年2月末日現在)

乃村グループ全従業員2,522名(契約社員含む)
 連結1,952名(正社員) 単体1,340名(正社員)

連結子会社 グループ会社 6 社 (2022年3月1日現在)

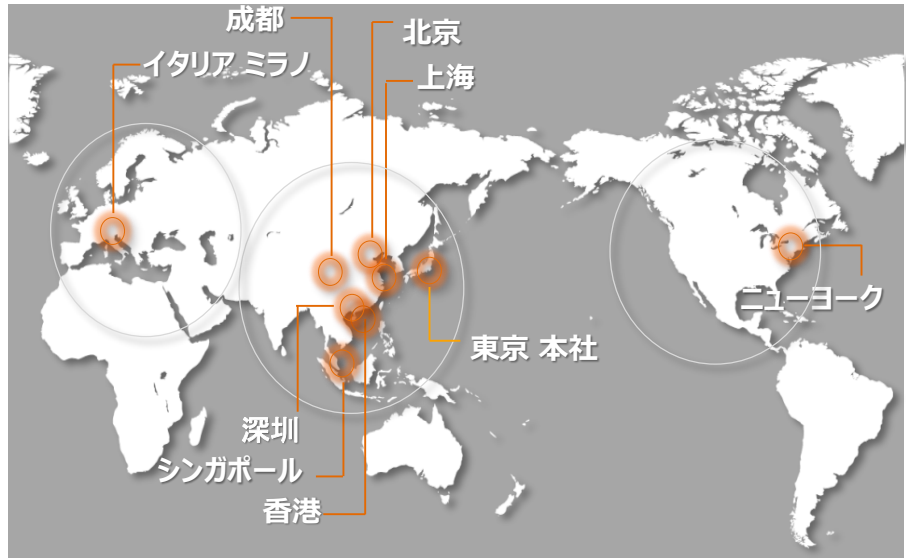
事業内容

ディスプレイ業 (※ 総務省 日本標準産業分類で定める事業)
 集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン、
 設計、制作施工ならびに各種施設・イベントの活性化、
 運営管理

国内拠点



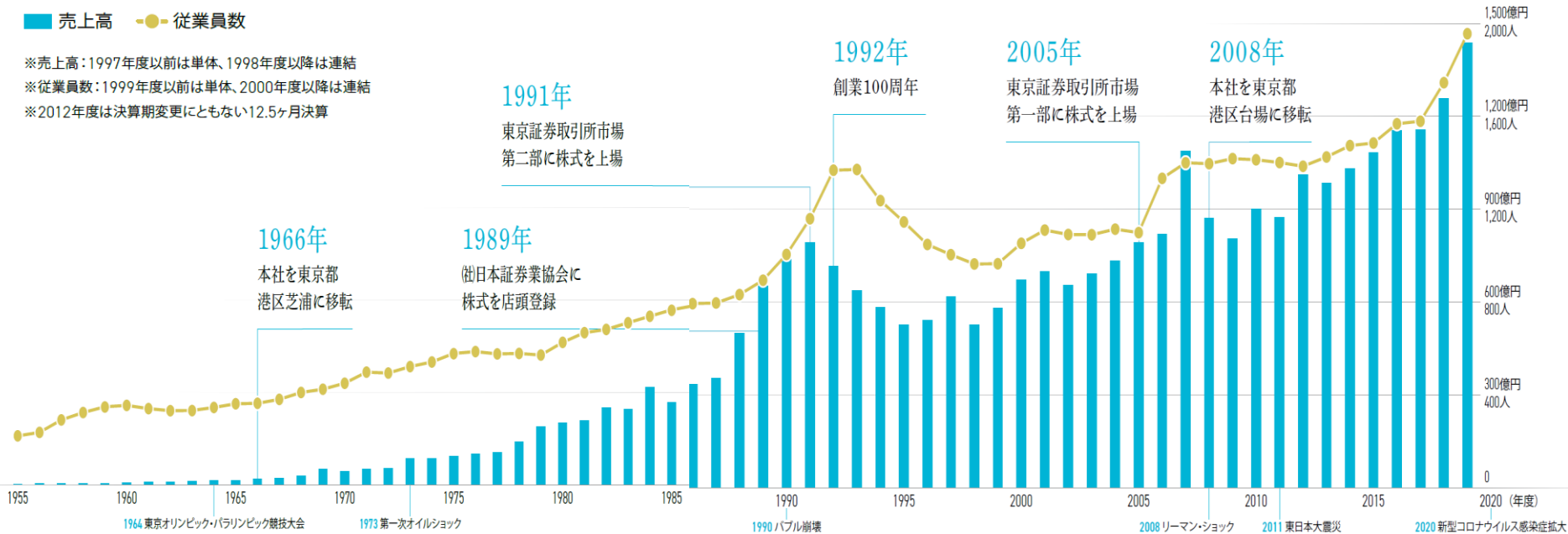
海外拠点



乃村工藝社の歴史

■ 売上高 ● 従業員数

※売上高：1997年度以前は単体、1998年度以降は連結
 ※従業員数：1999年度以前は単体、2000年度以降は連結
 ※2012年度は決算期変更にともない2.5ヶ月決算



1892年

乃村泰資が高松で創業、芝居小屋の大道具方として活躍



創業者 乃村泰資

1892年～1945年

大衆娯楽から博覧会・展示装飾への展開
 イベント(菊人形・国技館や靖国神社の催し・博覧会)・百貨店



両国国技館菊人形「十二段返し」1924年頃

1945年～1969年

経営近代化の始動とディスプレイ業の確立
 百貨店・博覧会・美術展・遊園地



高島屋大飯店の店頭装飾 1947年

1970年～1989年

事業拡大と経営基盤の強化
 万国博覧会・商業施設・博物館・展示会・企業PR館・ショールーム



日本万国博覧会 1970年

1990年～2012年

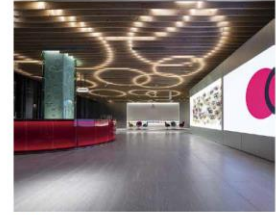
市場環境の変動を超えて「選ばれるノムラ」へ
 ブランドストア・チェーンストア・集客装置・指定管理者と運営事業・まちづくり



日テレ大時計(宮崎駿デザイン) 2006年

2013年～現在

Prosperity Partner
 お客様の事業繁栄を実現するパートナーとして
 複合商業施設・ホテル・テーマパーク・オフィス・地域創生・デジタル分野

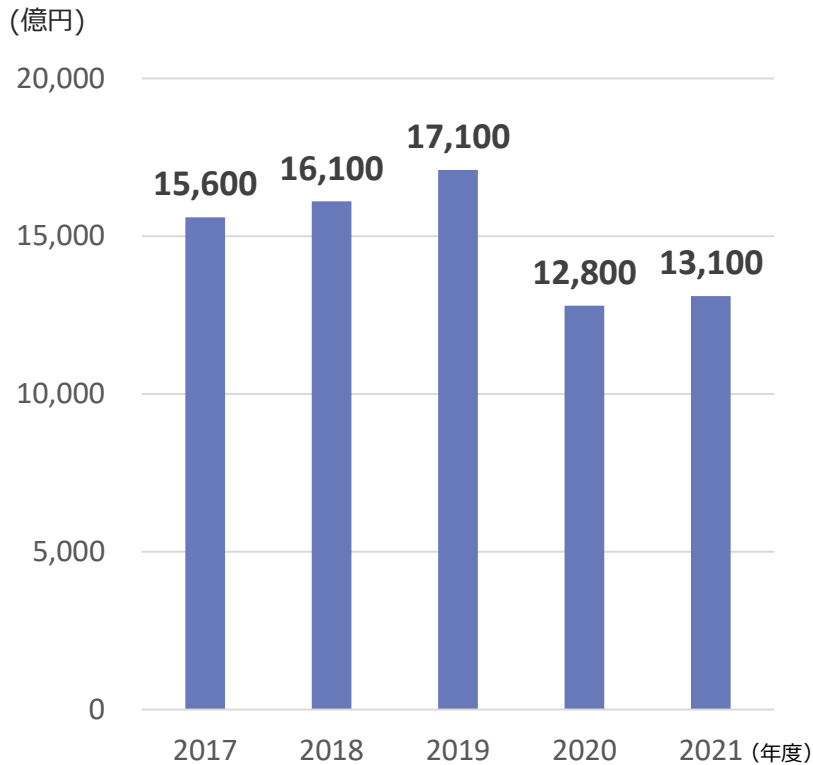


日本オリンピックミュージアム(電通・乃村工藝社・電通ライブ コンソーシアム) 2019年

ディスプレイ業界を取り巻く市場環境

■ディスプレイ業界の市場規模

新型コロナウイルス感染症の影響により、
2021年度は約1兆3,100億円と推定



出典：(株)矢野経済研究所

■ディスプレイ業界の市場領域とそれを取り巻く業界

建設業、不動産業や広告業、イベント産業などの業界と密接に関係



ディスプレイ業界の市場シェア

売上を拡大し、業界トップシェアを堅持

【ディスプレイ業界上位30社の売上合計に占める上位10社の占有率】

2010年度				2015年度				2020年度			
順位	社名	売上高	占有率	順位	社名	売上高	占有率	順位	社名	売上高	占有率
		(百万円)				(百万円)				(百万円)	
1	乃村工藝社	90,105	15.4%	1	乃村工藝社	108,340	14.5%	1	乃村工藝社	107,736	15.5%
2	丹青社	53,441	9.2%	2	丹青社	67,612	9.0%	2	丹青社	69,225	10.0%
3	J.フロント建装	34,995	6.0%	3	スペース	51,371	6.9%	3	三井デザインテック	45,410	6.5%
4	スペース	29,228	5.0%	4	J.フロント建装	38,714	5.2%	4	スペース	40,028	5.8%
5	エイムクリエイツ	23,834	4.1%	5	三越伊勢丹 ^{POA} デザイン	34,138	4.6%	5	ラックランド	37,164	5.4%
6	ジーク	23,786	4.1%	6	ジーク	33,446	4.5%	6	ジーク	26,214	3.8%
7	三井デザインテック	21,304	3.6%	7	シミズオクト	31,022	4.1%	7	J.フロント建装	24,155	3.5%
8	高島屋スペースクリエイツ	21,292	3.6%	8	三井デザインテック	30,985	4.1%	8	船場	21,707	3.1%
9	パルコスペースシステムズ	18,830	3.2%	9	船場	30,732	4.1%	9	ウチダエスコ	21,105	3.0%
10	船場	18,600	3.2%	10	高島屋スペースクリエイツ	30,250	4.0%	10	高島屋スペースクリエイツ	19,942	2.9%
上位30社の売上合計		583,907	100.0%	上位30社の売上合計		748,282	100.0%	上位30社の売上合計		693,373	100.0%

※ 上記は当社集計による数値です。

乃村工藝社の事業

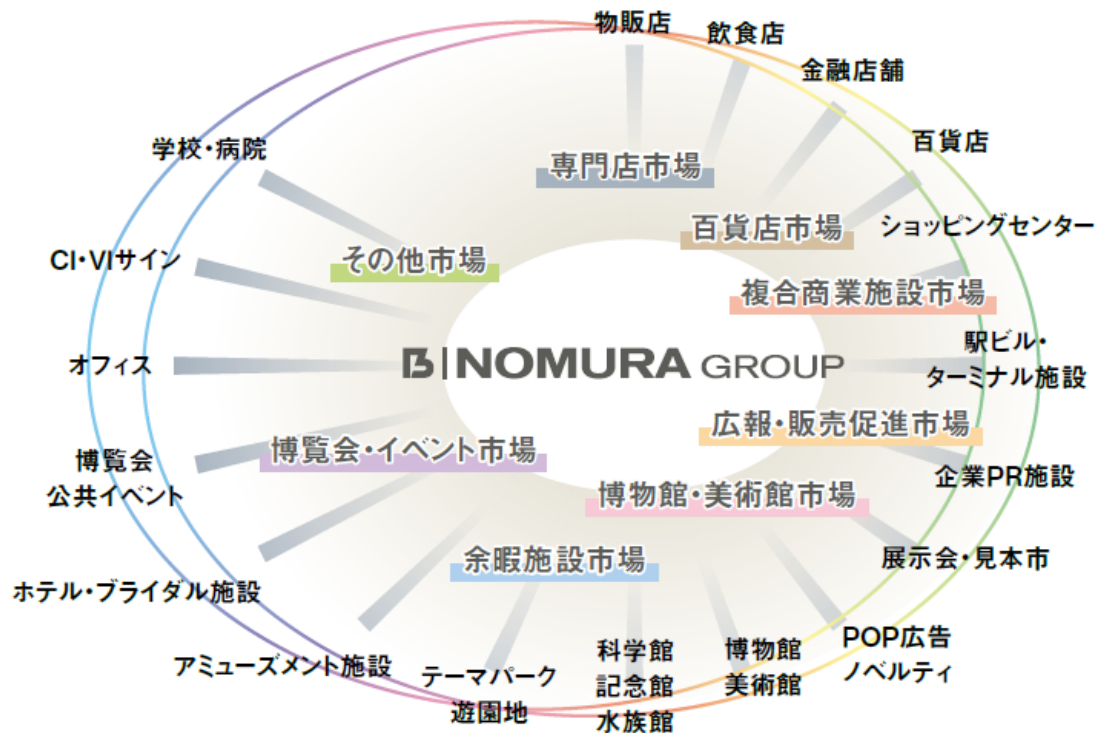
創業以来125年超にわたり「人が集まる空間づくり」をプロデュースしてきた、 集客創造におけるプロデューサー集団

1

調査・企画
・コンサルティング

2

デザイン
・設計



3

制作・施工

4

運営管理

商業施設から、ホテルやオフィスなどの各種施設に加え、博物館・美術館、ショールームなどの展示、博覧会・イベントといったプロモーション分野まで幅広く展開

乃村工藝社の強み

業界No.1を創り出す3つの強み

① 総合力

国内外で、大型案件を企画から運営まで手掛けられる体制

- ・国内拠点 **9都市**
- ・海外拠点 **8都市**
- ・グループ会社 **6社**(2022年3月1日現在)
- ・協力会社体制 **500社以上**

② クリエイティブ力

企画・デザインによる差別化

- ・プランナー&デザイナー **614名**
- ・一級建築士 **129名**
- ・デザインアワード受賞数 **64**

③ プロダクト力

高品質を実現する制作体制

- ・プロダクトディレクター **560名**
- ・一級建築施工管理技士 **318名**

お客様からの高い信頼、安定した顧客群

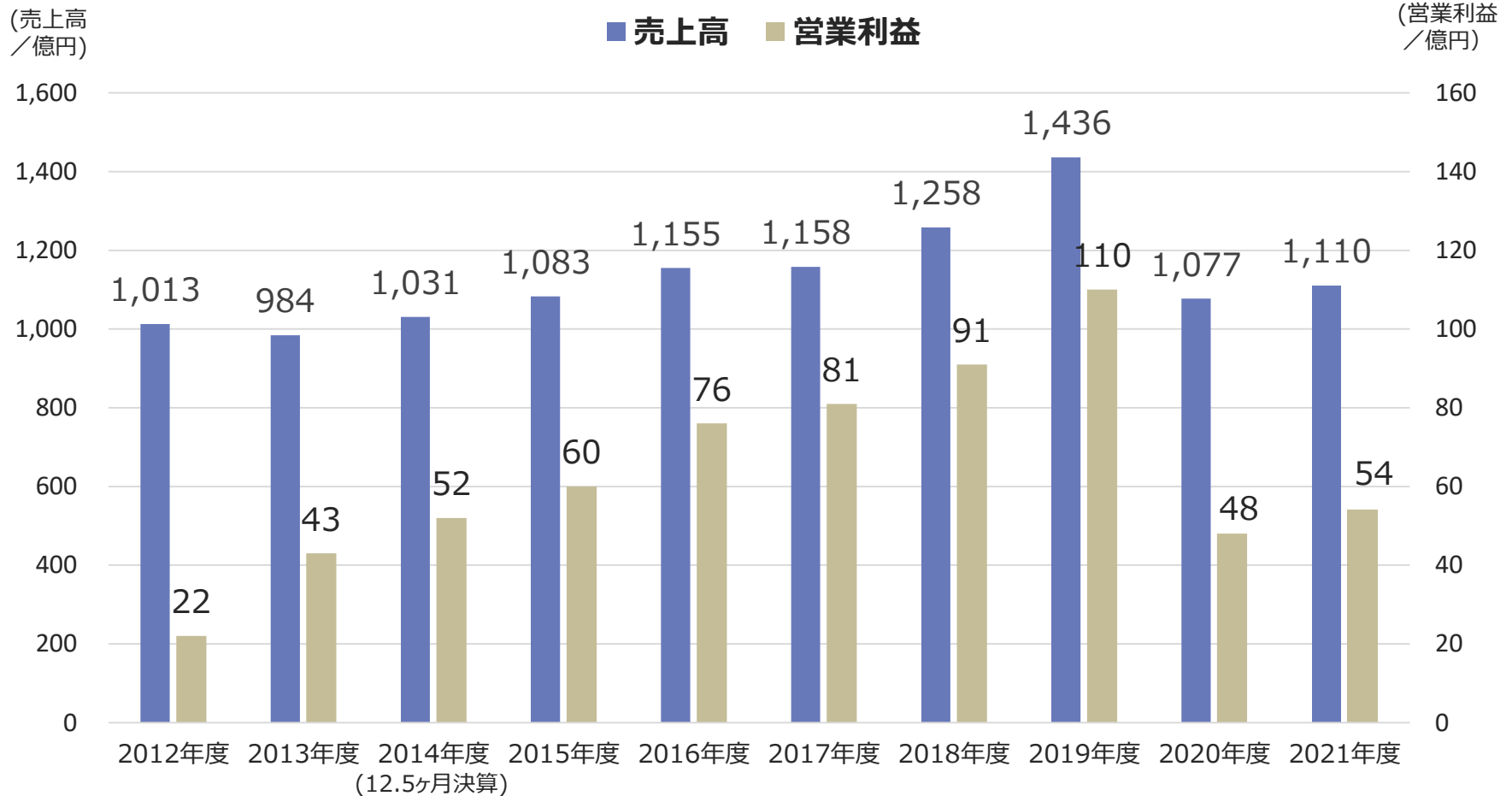
年間のプロジェクト件数
11,987件

年間の顧客数
2,789社

継続顧客の比率
81.1%

各業界の主要
企業がお客様

通期業績の推移



■ 2011年3月
東日本大震災

■ 2013年9月
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会決定

■ 2020年
新型コロナウイルス
感染症拡大

■ 2012年5月
東京スカイツリー開業

■ 2016年 訪日外国人が
初めて2,000万人を突破

株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ
IR・ガバナンス推進部
(ir@nomura-g.jp)